

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590400180		
法人名	株式会社 タクト		
事業所名	グループホーム観音堂		
所在地	秋田県大館市字観音堂391		
自己評価作成日	令和5年12月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和5年12月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様お一人お一人の状況、日々の変化に合わせ、業務を変更し、安心して生活してもらえるような環境作り、声掛けや対応を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ発生以降、利用者が外部の方と接触する機会がなくなり、家族との面会は緩和されてきましたが、ホームで過ごすことが長く続いています。職員が補充できない時期も続いて、残った職員の負担が多かったとは思いますが、利用者の安心できる生活の継続に努めてきました。コロナ禍でできなかったホームの行事を復活させることで、利用者が地域の方と関わる機会が増え、更に、周辺に住宅が増えたことによる環境の違いを今後に活かした活動が期待されます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~46で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
47	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:19,20)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	54	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9,15)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
48	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	55	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,16)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
49	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:19)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	56	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
50	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	57	職員は、生き活きと働けている (参考項目:10)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
51	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:41)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	58	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
52	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	59	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
53	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	福祉事業部の理念をもとに、自施設の理念を掲げておりますが、現状に沿った理念の見直しを検討しているところです。	法人本部の理念と共にホーム独自の理念が策定されていますが、理念についてあらためて話し合うことがなく、共有する機会がありません。	理念を新たにすることを検討しているようですが、理念の持つ意味を職員間で共有し、日々の業務で理念が実践できる機会となることを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルス流行以降、地域の方々との交流は控えている状況です。	利用者が直接関わることは控えていますが、ホームの食料品、備品等は近隣で購入しており、地域の一員としての交流は続いています。周辺に住宅が増えたこともあり、今後はホームの行事も再開したいと考えています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	感染症対策のため、外部の方々との接触は依然控えております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催出来ておりません。今後、開催したいと思っております。	現在は会議メンバーに資料の送付も行っておりません。	運営基準に基づいて定期開催すると共に参加者の充実を図り、開催することによって得られる意見を運営に活かす取り組みを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の福祉課からは、メール等で情報を提供してもらっております。また、分からない事に関しては、その都度、市の担当に確認しアドバイスをもらっております。	ケアマネが不明点を相談する等、担当部署と連絡をとり、連携が図られています。	
6	(5)	○身体拘束及び虐待をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び「高齢者虐待防止関連法」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むとともに、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に委員会の開催、身体拘束についての研修を行っております。また、虐待防止については、日頃から虐待に繋がるような言動や行動はないかを確認し、その都度、声をかけ合うようにしております。	研修を通じて身体拘束、虐待を行わないケアに取り組んでいます。時には管理者が職員の言動に気を配り、気づきを促しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等が開催される際は参加し、職員と情報を共有したいと思います。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族やご本人との面談の段階から、ゆとりと時間を設け説明させてもらっています。		
9	(6)	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、要望、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、適切に対応するとともに、それらを運営に反映させている	申し送りや連絡ノートを活用し、入居者様の変化やご家族様からの要望を全職員に周知しております。頂いたご意見や要望は、できる限り希望に添えるよう検討し対応しております。	話しやすい関係づくりを心がけています。利用者の今後についての相談等があり、意見、要望にその都度対応しています。	
10	(7)	○運営や処遇改善に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や職場環境、職員育成等の処遇改善に関して、職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを適切に反映させている	職員とは、少しでも話しやすい関係を築けるよう努力しております。意見や提案は、できるだけ取り入れ、その他に関しては、上司に報告し対応を検討しております。	備品の購入や勤務上の要望等々、職員の意見、提案が法人本部に伝えられ、反映させています。	
11		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列の施設間では、日常的に情報を交換し共有しております。得た情報は、職員にも伝え、時には業務に取り入れております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談時は、ゆっくりと時間を設け、お話しさせてもらっています。ご本人の生活状況やご家族との状況を見させていただき、要望や不安な部分を汲み取るようにしております。入居後は、職員間で情報を共有し、安心して生活できるよう努力しております。		
13		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談時に、ゆっくりとお話をさせていただき、施設の特徴を説明させていただいております。また、ご家族が不安なことや希望されることを伺い、安心して入居してもらえよう努めております。		
14		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日頃から、入居者様との会話を大事にするよう心がけております。		
15		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	玄関ホールでの対応にはなりますが、面会を再開しております。遠方のご家族は、電話などでご本人と会話をしていただいたり、職員が状況を報告させてもらっております。		
16	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように、支援に努めている	ご本人から電話や手紙…の要望は殆どありませんが、ご家族やご兄弟から電話や手紙を届くことはよくあり、お部屋に飾ったりしております。	訪問理容、近所のお店での買い物中止していることから、馴染みになった人との関係は途絶えています。今は家族が関係継続のために協力してくれています。	
17		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性や、認知症状、介護度等を考慮した上で、その都度席替えや居室移動をしたり、職員が間に入り会話ができるようお手伝いしております。		
18		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族が負担にならない程度に、連絡を取っている方もおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向、心身状態、有する力等の把握に努め、これが困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の暮らしの中での表情や言動から、ご本人の気持ちを汲み取りながら、職員間で話し合い、少しでも希望に添えるよう努めております。	入浴時や普段の会話から意向を汲み取り、生活に反映できるよう検討しています。	
20		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や居宅ケアマネ、利用していた施設から情報をいただき、ご本人の把握に努めております。		
21	(10)	○チームでつくる個別介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した個別介護計画を作成している	ご本人やご家族の意向を基に、職員で話し合いをしながら作成しております。	日々の記録を基にモニタリングし、利用者、家族の意向を取り入れて介護計画を作成しています。	
22		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や個別介護計画の見直しに活かしている	ケア記録をもとに、申し送りやケア会議で情報交換を行い、現状に沿ったケアの実践を心がけております。		
23		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	かかりつけ医や市の担当者からの助言・情報をもとに、安全な暮らしができるよう努めております。		
24	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に、在宅時から通われていた病院の継続をお勧めしております。ご家族対応での受診の場合は、現状を医師に伝えていただくようお願いしております。	入居後も同じ医療機関で受診しており、主に職員が通院介助しています。歯科、薬局とも良好な関係を築き、適切に支援しています。	
25		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は採用しておりませんので、変化があった場合は、速やかに管理者へ報告するよう徹底しております。また、かかりつけ医にも連絡し、指示を仰いでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院中は、こまめにご家族や病院と連絡を取りながら調整しております。		
27	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合については、早い段階で御家族と話し、施設への申し込みなどを行っております。終末ケアに関しては、かかりつけ医によって対応が異なるため、その都度、医師やご家族と話をしながら対応しております。	かかりつけ医によって対応が異なることか、利用者の状態の変化に応じて家族と話し合い、ホームで対応できない時の家族の不安が解消できるよう支援しています。	
28		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	実践的な訓練ができておりません。急変時等に、焦らず対応できるよう、訓練したいと思います。		
29	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災時の避難訓練は実施しておりますが、地震や水害時の訓練はできておりません。今後、実施したいと思います。	飲食料を備蓄しています。水害の危険地域であり、隣接する同法人の事業所に避難することになってはいますが、具体的なことは決めておらず、火災時の避難も画一的で不安が残ります。	利用者、職員の安全な避難を考慮し、運営推進会議でも協議しながら、さまざまなパターンを想定して夜間、天候に応じた具体的な訓練の実施とその積み重ねを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の個性や性格、認知症状を把握し、その方に合わせた距離感や言葉でコミュニケーションを取るよう心がけております。	耳の遠い方、長く入居している方等、一人ひとりの性格や状態の違いを十分に理解して対応することを心がけ、より良い支援に向けて努力しています。	
31		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の好みを伺いながら、朝の洋服選びをしたり、鏡を見ながら身だしなみを整えてもらったりし、無関心にならないようお手伝いしております。		
32	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在、感染症対策から、職員と入居者様が同じ食卓で食事をとることは行っておりませんが、見守りながらも会話をしながら、楽しい食事時間になるよう心がけております。また、負担にならない程度に、準備や片付けも一緒に行っております。	お盆や彼岸等、行事や季節に合わせた食事を利用者と一緒に作りながら、楽しみに繋げています。	
33		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせた食事量や形態で提供しております。また、一度に水分を摂れない方は、回数を小分けにして飲用していただくこともあります。		
34		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの状況に応じて、お手伝いしながら毎食後は歯磨きを行っております。		
35	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々に合わせた排泄の支援を行っております。自立された方に関しても、羞恥心に配慮しながら、声掛け等で排泄の確認をさせてもらっております。	排泄用品が不要な方が多いものの、チェック表で確認し、それぞれに合った支援をしています。用品を使用している方の費用負担については、状況に応じて家族に伝えています。	
36		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜や果物、食物繊維が多く摂れる食材を献立に取り入れております。また、水分をこまめにとってもらったり、入浴時のマッサージなどで快便に繋がるよう努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は、一人ひとりお湯を張り替え、ゆっくりと入っていただけるよう時間を設けております。また、入浴予定日であっても、気分が乗らない時は無理強いせず、日にちや時間帯を変更し対応しております。	ゆっくり入れるように支援しており、週2～3回入浴しています。毎日陰部清拭を行い、皮膚状態の改善に繋がっている方もおります。	
38		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、ソファでうたた寝されている方、お部屋で休まれている方と様々です。夜間も、出来る限りその方の希望に合わせて、就寝時間や起床時間を調整しております。		
39		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容が変更になった場合は、申し送りや連絡ノートで周知しております。また、服薬チェック表を用い、職員間で声をかけ合いながら、飲ませ忘れや誤薬防止に努めております。		
40		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様のご気分を伺いながら、家事の手伝いをしてもらったり、棟内の散歩をしております。入居者様の中には、花札を持参し絵合わせを楽しんでる方もいらっしゃいます。		
41	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	感染症対策のため、外出や外泊は原則、ご遠慮いただいておりますが、状況によっては外出される場合もあります。その際は、ご家族と相談し対応しております。	感染防止のため、コロナ以降の外出は減少しています。ホームの前で散歩する方はおりますが、通院が外出の機会となっており、月に1回から2～3ヶ月に1回の方もおります。今度のお正月には外泊を予定している方がおり、感染症の終息後には、外出の機会が増えてくるものと思われれます。	
42		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様のお小遣いは、ご家族同意のもと、事務所金庫で保管しております。買い物希望があった場合は、職員が対応し購入しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	定期的な換気や消臭対策を行っております。造花や壁掛けなどで季節感を演出しております。	利用者に合わせて食堂テーブルの配置を工夫しています。今はクリスマスの飾りつけがされており、お正月、桃の節句等、その時季の飾りつけをして季節がわかるようにしています。	
44		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中は殆どの方がホールのソファで過ごされております。その際、気の合う方とお話できるよう座る席を配慮したり、テレビを楽しんでいただいたりと個々でゆっくりと過ごしてもらっております。		
45	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居される段階で、ご家族には自宅で使っていた馴染みの物の持ち込みをお願いしております。職員が片付け過ぎないように、ご本人の居心地の良い空間作りを心がけております。	入居時には使い慣れた物を持ってきていただけるように家族に話しています。利用者の状態に合わせて室内環境を整えており、家族から届いた手紙を飾っている方もおります。	
46		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の状況に合った設備を取り入れ活用しながら「できること」の継続に努めております。		